

全国女性会館協議会 第69回全国大会 in おおた 1日目 アンケートまとめ

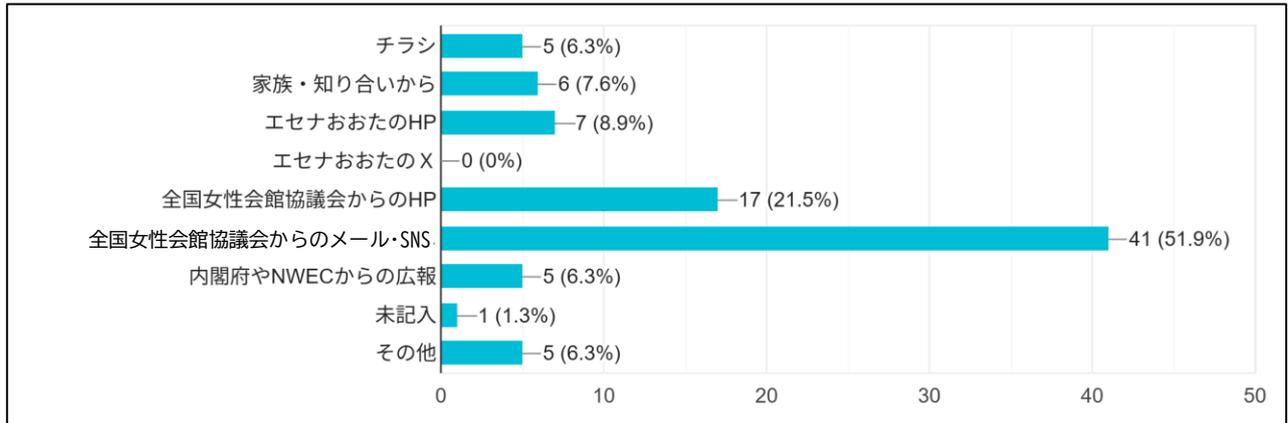
日時：2025年7月30日（水）13：00～17：15

会場：スマイル大森 地下2階 多目的室（大）

内容：ウエルカムステージ、イチオシ事業大賞、基調講演、パネルディスカッション

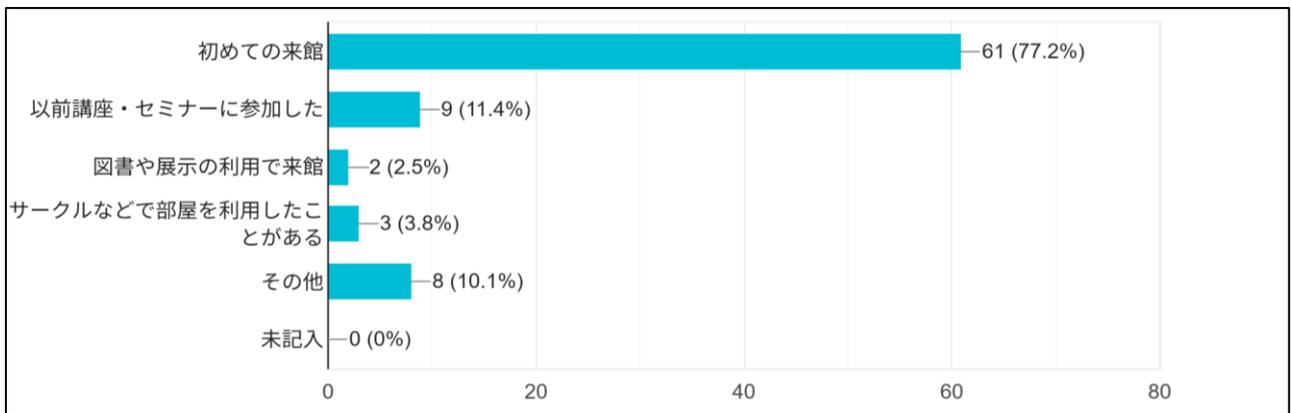
参加人数：132人 アンケート回答数：79枚 回収率：59.8%

1. この事業を知った広報（複数選択）



その他…上席より、職場 3、ジェンダー平等 Labota からの ML

2. これまで「エセナおおた」にいらしたことはありますか？（複数選択）

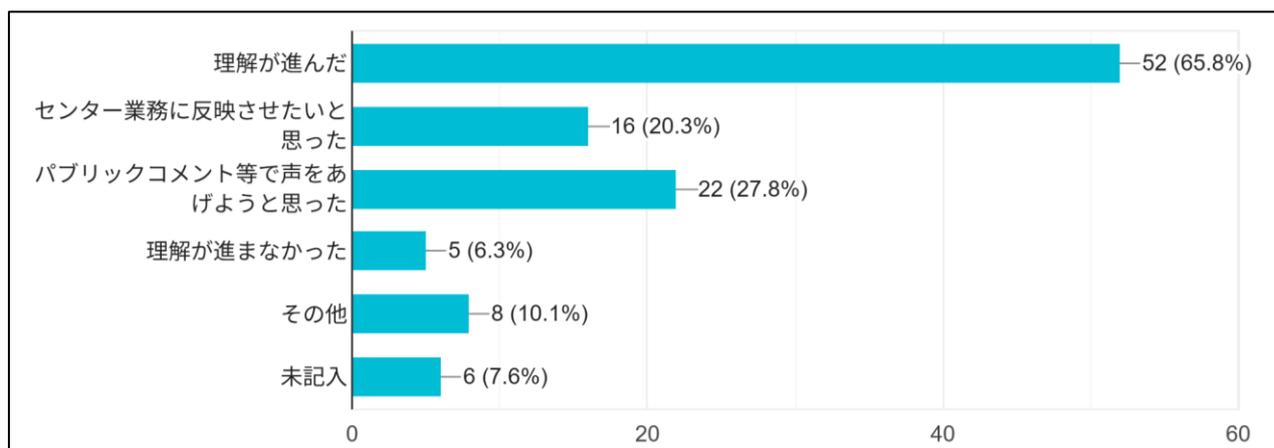


その他…研修で来館、古い方のエセナな来たことがあるが新しい方は初めて。

ジェンダー平等 Labota の通常総会で来訪

迷子にならないため一度下見に来館

3. 第6次男女共同参画基本計画の方向性について（複数選択）



- その他
- ・無理やり世界基準にしようとして現場が追い付いていない印象
 - ・まだ具体的な部分なかったのが残念。
 - ・事業計画に反映させたい。
 - ・鈴木区長より前向きなジェンダー視点での取組み、新たな気づきと連携等、力強いお言葉があり、区民であることを少しわくわくしました
 - ・まだわからないということがわかった。
 - ・「機構」の発足に向けて抜本的な整備、簡素化が必要と思った。
 - ・計画作りが上手な日本であるが結果を十分反省したうえで次の計画を作ることが肝要

4. 基調講演の満足度とその理由

満足度	理由
100% (17人)	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画の変遷や見るべきポイントを非常にわかりやすくご説明いただけて大変勉強になった。 ・5年×5回＝25年前に進んでいるのではないかと。 ・私は小学校6年生から男女の格差について興味を持ち始めて少しずつ自分で調べたりしてたけど、今日の話ではジェンダー問題の根本は人権問題であることとまだ女性が学びたい学問（文系 or 理系）についての理解を経済的支援を多くしている両親などという身近な人（大人が）教育されて考え方を考えるべきと言う話を聞いて今までその部分をピックアップして考えたことがなかったので視野が広がったので良かったです。私的には日本は国際的に遅れたくないからいくつかの取組みをしていたが、正直中身はあまり働いていない、意味がないところがあったから今まだ変えるべきところが多いのかなと今日の講演を聞いて思いました。 ・これまでの流れを振り返ることができ、ありがたい機会だった。 ・わかりやすく、貴重な講演を誠にありがとうございました。白波瀬さんのおっしゃる通り、立派な基本計画があるにも関わらず、現場に浸透していないこと（特に18歳までの教育現場）を痛感しております。現状がどうなっているのか、自分でも調べたいです。あきらめず活動を続けたいと強く思いました。 ・第1次～6次までの成り立ちがわかり、また基本計画の重要性も勉強になりました。 ・相談業務でエセなおおたに救われたことがたくさんあり、参加させていただきました。そのもとに法や基本計画があること、世界、G7、何も知らなかったのが歴史とこの分野でご尽力くださる

	<p>方々に、心から感謝します。一般社会ではD E Iを知らない人は多いと思います。参加して本当に良かったです。外で働きお金を稼ぐことが価値のあることという価値観は小学生にも根強く、社会に蔓延しているので家事育児は逆風です。「実行・行動力が一番大事」その通りです。資料や法作りより実行にパワーを使ってほしいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画のなりたちについては理解していなかったので大変勉強になりました。意見を届けたいと思います。 ・ご講演、大変勉強になりました。 <p>理由未記入 8</p>
99% (1人)	<ul style="list-style-type: none"> ・大変勉強になりました。唯一計画がもう少し進んだ段階でこの事業を実施したほうがさらに良かったと思いました。
95% (1人)	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画の変遷について詳しく知ることができた。第5次、第6次計画からの違いやご意見、背景についてもっと伺いたかった。
90% (16人)	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの基本計画を理解できました。最後のスライドの言葉がこれからの私たちを考えることになることがわかった。 ・まだまだ知らないことが多くあると感じ、大変勉強になりました。このような講演をまた聞きたいと思いました。 ・経緯がわかりました。またこれだけ尽力しても変わらない社会がもどかしいです。センターでの今後の講座や市との話し合いに活かしたいです。 ・大変わかりやすく理解が進みました。 ・基本理念等詳細なお話を聞くことができ学びが多かったです。しかし、私のような初心者には少し難しかったです。 ・計画策定に関わっている当事者として話しにくい部分があったと思うが、都合が悪い現実についてしっかり話をしてくれた。地域の重要性が国の法体系や行政の体制の面でも高まっており、実際に都合の悪い現実を変えていくうえで、地域の役割の大きさを示唆されたと感じたところである。 ・まさに市の男女計画は「計画のための計画」となっているかも。職員の数が減り、体力が低下し、指標を定めるのも冒険できず、思い切った特色のある骨のあるものが作れないし、国から降りてくるものに頼って…ということが繰り返されている。ボトムアップしようにも、日常の業務に追われて現場も余裕がない。何とかしたいが…。 ・男女共同参画基本計画の歴史を振り返ることにより問題点（計画は素晴らしいが実行できない、計画倒れ）が認識できた。 ・基本計画の歴史を学びました。計画実施はもどかしいこともありますが、つなげていくことの大切さがわかりました。 ・ためになりました。 ・歴史的流れを確認・整理できて理解が進みました。 ・男女共同参画基本計画が最初にできたときの背景、6次までの流れがよく理解できました。 ・第6次計画のワーキンググループメンバーとして最新の情報を伝えていただき、また計画の実行主体について言及されたから。 <p>理由未記入 3</p>
85% (1人)	<ul style="list-style-type: none"> ・6次に至るまでの詳細な動向についてよく理解できた。

<p>80% (20人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りと整理をしていただき現在地がよくわかりました。 ・計画策定の中にいる方からのお話で大変参考になりました。スライドのカラーの部分配布資料に反映していただけるとなお幸いです。 ・基本計画のこれまでの移り変わり、重点項目とされる部分が少しずつ変わっていていることがわかった。が、やはりこれまで時間をかけてきた割に変化が乏しいと感じる。そもそもこれを主に決めている政府自体が変わっていないところが問題。基本計画自体をもう少し一般の意識に揃えては…と感じる。白波瀬先生のパネルディスカッションの最後のまとめがとても良かった。 ・骨子案があいまいなところがある。 ・講演内容は既に知っていた。講師の Passion（社会を変えたい）を評価した。 ・内容が濃い話が多くとても学びになったが、一方時間が少し足りないように感じた。 ・基本的なことはわかった。 ・遅刻してきたので、やはり文字が多いこと、計画自体が総花的なこと。 ・第1次計画からの歴史を学び、課題がわかりました。難しく完全には理解できませんでした。 ・とても勉強になりました。もっと学んでいかなければと思います。 ・男女共同参画のために動いてくださっていることについて理解できたし、複合的課題が直面するため一つの打開ですすんでいけることは難しい。一方で子どもについてどのように包摂していくのか、なかなか見えてこないところもあったうえ、上ずみの部分だけに物事を見ているような気もした。 ・前日の計画策定の会議を傍聴しており、白波瀬先生の「誰のための計画か」という意見に興味があったため。まさにこのタイミングでお話を聞くことができ良かったです。 <p>理由未記入 8</p>
<p>75% (1人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・期待していた内容とは違ったが参考になった。
<p>70% (5人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の意義は実行することでまっとうできるはず。しかし自治体の計画とセンターとの間の関係性は微妙。 ・体系的に学ぶことができた。 <p>理由未記入 3</p>
<p>64% (1人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・なめらかで聞こえにくい部分が多かったが、国の施策と地域社会との連携が大切ということはよく分かった。
<p>60% (3人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少しシンポジウムでお話をされたような問題点も明確に指摘し、どう改善したらよいか、パブコメに意見が出せるようにしてほしい。 ・6次計画の内容にもっと触れてほしいです（難しい事情は承知しつつ…） ・参院選で目立った政党への反発、世界各地で勃発している戦争・紛争についてどうやって扱っていくのか、扱えるのかを考えながら聞いていました。
<p>55% (1人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・説明や経緯はわかりやすかったのですが、もともとの計画や方針、骨子を改めてしっかり読み込まないと、パブコメや真の理解までにはつながらないという思いから。
<p>50% (3人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既に知っている内容であったから。もう少し第6次について方向性を具体的に知りたかった。 ・大まかな内容は理解できました。具体的な話をもっと聞けたら良いと思いました。 ・難しかった。
<p>40% (1人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・早口で音が拾いにくい。マイク音響入っていますか。プリントの表がみえない。どうにかならないか…。

10% (2人)	<ul style="list-style-type: none"> ・数字の男女共同参画基本計画の振り返りも良いが、資料の字が紙も画面も小さくポイントがあまり伝わらなかった。タイトルにある地域の観点をもっと伺いたかった。 ・欧米諸国と比較して女性の管理職比率が低いと言われても日本の女性が意志決定の立場を望んでいるかが重要。
-------------	---

5. パネルディスカッションの満足度とその理由

満足度	理由
100% (20人)	<ul style="list-style-type: none"> ・色々なお立場のパネリストの方々のお話がうかがえて興味深かったです。やはりジェンダー平等が人権の問題であるという点はずしてはならないと改めて感じました。センターは多くの課題を抱えていますが、可能性も感じられる。大変勉強になるディスカッションでした。 ・話すこと、言葉に出すこと、他者を理解するための議論の大切さを目の当たりにした感じでした。 ・内容も濃くたくさん話を聞けたからです。 ・今後の動向をしっかり注視していきたいと思いました。第6次計画のポイントを理解できました。ありがとうございました。 ・改めてジェンダーの問題は多岐に亘っていることを実感しました。いくつかの分野に分けて、同時進行で実現していかないと、また何十年も遅れてしまうのではないかと危機感を覚えます。まずは男女センターで男女ともに子どもが参加したいと思うイベントや講座を考えてみたいと思いました。いろいろな違った立場の人の意見を出すのが大切ですね。一生懸命やるだけでは足りないという白波瀬さんの言葉が胸に残りました。 ・第6次基本計画について理解が深まり、より興味が持てた。基本計画を読み込んでみます。納米さんの説明がわかりやすかったです。 ・プロがプロになりすぎて一般社会にはほとんど知られていない。計画が多すぎて難しすぎて読まない、知らない、覚えきれない、全部できない。強制的にしぼってやらせる方が速そう。小中高にデートDV、モラハラを具体的に教えることが大切。こんな何十年も計画をたてていて全然変わっていないことに驚きです。A4、1枚にまとめるつもりでやってほしい ・初めてパネルディスカッションを拝見したが迫力があって、おもしろかった。 ・面白かったです。6次計画がより具体化して、センターの役割がより明確化すると良いです。男女センターで働く仲間たちがやりがいと誇りをもって働ける環境がもっと整うといいです。 ・パネリストの方々様々な角度からの意見をうかがうことができ、自分自身考え方の幅が広がりました。 ・いろんな方向性の意見がとてもおもしろく興味深かった。 ・あえて常見さんを入れて民間からの視点が入ってくるのは良かった。同種職の人だけが集まると結局あいまいになってしまうため、さまざまな視点から6次計画を考えられたのが良かった。 ・白熱したディスカッションでさらに理解が深まりました。 ・白波瀬さん、納米さんのお話、最新の動向、お二方の率直な意見が聞けて（常見さんのプロレスのおかげ？）とても良かったです。 <p>理由未記入6</p>
95% (4人)	<ul style="list-style-type: none"> ・時間が長いかと思っていたが聞いているとすごく短く感じた。常見さんからの極端な意見に対して白波瀬さんの回答が良かった。櫻井さんの若者と作るセンターに共感しました。それぞれの話が1つのセミナーとして成立するくらい内容が濃かった。

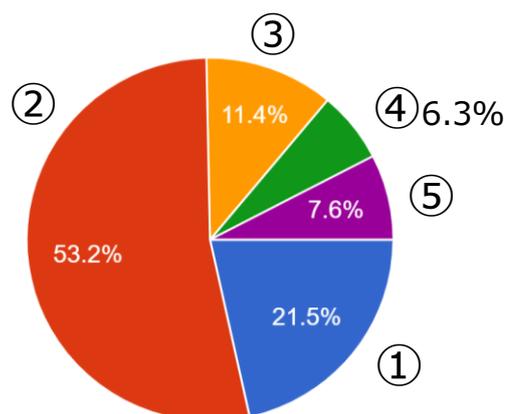
	<ul style="list-style-type: none"> ・男女センターと民間の違い、やり方の違いなどがよくわかりました。市・県・国が関わるとうまくいかないことが多く、民間の自由さがうらやましいです。 ・計画策定の問題点を浮き彫りにしてみせてくれる議論だった。常見先生がうまく委員の先生方の問題意識をわかりやすい形で引き出してくれたと思う。 ・6次計画の多様さはわかったが様々に考えさせられた。
90% (13人)	<ul style="list-style-type: none"> ・パネリストのそれぞれの考えを聞くことができ、そこから私たちのセンターがこれからやらなければならないことのヒントになった。 ・常見さんの指摘はごもつともだと思った。やる気がないのは決める・取り組む側ではなく、政府そのもの？という気もした。まずは議員の数を変えてからではないか。若者の声をもっと取り入れ、イマドキの視点を取り入れてはと思う。そして誰もがわかりやすい、取り組みやすいものにしていてはと思う。 ・さまざまな意見が出て、特に若者（ユース）については関心が深まったので取り組んでみたい。 ・もう少し時間があれば…もっと聞いてみたかったです。 ・6次計画の方向性で課題が見えてきた。計画を指針としながら、地域の困難な現状をみて事業を展開していきたいと思いました。センターに来てもらう→連携・繋がる視点を大切にしていきたいです。 ・本当に進めてジェンダー主流化を表向きに戦略的にどう進めて「実」をとっていくか、ということなのかと感じた。 ・基本法策定まで時間がない中で、何とか体裁を取り繕うとしている官/専門家が突っ走っていきたくらうな。今まで何度も策定していたのに美辞麗句だけ並べて実行部隊のことをあまり考えていない様子が改めて認識できた。 ・第6次計画策定に白波瀬さんやセンターの実態をよくご存知の納米さんがおられて良かったと感じた。常見さんの問題提起や話はおもしろかったし、サービス精神を感じたが、「メンオジ」になりかけ？だったかも。センターでやっていることと課題の両方がわかった（指定管理している当センターで） ・常見先生の意見が「目からウロコ」的に腹落ちしました。地方自治体の公設公営のセンターで運営する立場で計画を策定しなければならぬマンパワーが足りない。力を入れてもらっていないということが、国の状況を見ても理解できました。 ・各パネリストの意見が一様ではなく予定調和でない真にディスカッションになっていたのが楽しく聞くことができました。 <p>理由未記入 3</p>
85% (2人)	<ul style="list-style-type: none"> ・「センターでできること」としての議論が、一般の人との課題や価値感や地域の課題と結び付けて最大公約化するという議論は深まったがその中で、唯一常見准教授の視点は唐突感を覚えました。 <p>理由未記入 1</p>
80% (15人)	<ul style="list-style-type: none"> ・基調講演よりもホンネが聞いて良かった。櫻井さんの提案が大変参考になった。 ・パネリストの方のお話も個別にもっとお聞きしたいと思いました。とても参考になる内容でした。時間が足りないですね。 ・パネルディスカッションの3人のお話はよくわかりました。ご質問が私には難しく感じました。 ・かなり計画について課題が出たと思う。最後の大事にするビジョンは良かったです。根本的に個

	<p>人（基本的人権）が明確にされていない。計画の中に女性の人権尊重のため個々人の自立をめざすための教育をもっとという視点もあっても良いのではないかと思った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活発な議論を見ることができました。自分自身の考え方を育てるようになったらより双方の意見に対して感想を与えられるようになるのではと考えました。 ・国（行政）と民間・外資、そして地方自治体のスピード感、視点の違いが浮き彫りになり興味深いものだった。 ・それぞれのパネリストのお話が興味深かった。議論がかみ合うまでの時間がなかったことは少しもったいないと思いました。 ・本音トークが良かった。 ・単純に男だから女だからという理由で賃金格差があるわけではない（職種や業種の偏り）。活躍しきれない背景など再確認できた。 ・パネリストの方は話したいことがたくさんあったので、時間配分が大変だったと思います。 ・理由未記入 5
75% (2人)	<ul style="list-style-type: none"> ・パネルディスカッションのテーマと内容が異なっていた。パネリストの存在が評価を下げた。 ・有意義な内容だった。
70% (7人)	<ul style="list-style-type: none"> ・議論になっていて興味深かった。 ・常見先生の話が長かった。 ・男女センターの機能強化にリソース（予算、人）がついていくのか、現時点では見通せないと感じた。「ロマンとそろばん」は今一番大事と感じているところです。ユースの巻き込みはヒントをもらった。 ・櫻井さん、納米さんの意見、提案は参考になりました。 <p>理由未記入 3</p>
50% (1人)	<ul style="list-style-type: none"> ・国の政策・歩みの遅さに関して、イベント参加者が怒っていないという前提はどこから来るのでしょうか。常見氏の主張は根拠が薄く、議論を浅い部分に留めていたと思いました。
42% (1人)	<ul style="list-style-type: none"> ・質疑でもやもやした部分をたずねたかったし、やはり皆様なめらかで情報量が多かったかなと思いました。「危機感」とは国の行く末のために抱くのですか？一人ひとりの人間のためではなく？
30% (1人)	<ul style="list-style-type: none"> ・常見さんの意見が一般的考えと思ったが、白波瀬さんの反論も的を射ている気がした。もっとディスカッションしてほしかった。意見交換ではなかったと思います。そもそもなぜ常見さんと呼んだんですか？男性も家事参加しているという要員？男女共同参画を理解しているのか疑問。独壇場のように感じた。
20% (1人)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会や地方自治体、地域の男女センターと結びつけた話をもっとしてほしかった。納米さんの話にあった地域のセンターがどれだけ多様なアクターと組めるか、ということは大事でぜひジェンダー主流化を地域のさまざまな場で実践してほしいです。 ・全体的に早口で音がひろいにくい。聞きづらかった。プリントは表が見えない。議員が多すぎ。メモも取れない。何について話したいのかよくわからない。文句の会？みんな好き勝手な発言でとりとめもない。どこに向かう話をめざしたのでしょうか。常見さんの話はおもしろかったがカットが入ったり、年配の職員さんは理解できたのでしょうか。めっちゃ聞き取りにくかった。
0%(1人)	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の政党を批判する内容があり不快でした。
満足度未記入 (1人)	<ul style="list-style-type: none"> ・国の計画を受けて自治体の動きを私たちセンター現場は今後の方向に活かし、実をとって考えることが重要と思いました。国の動き、そこへの委員の方々の感想を伺えて良かったです。

6. 属性について

(1) 所属

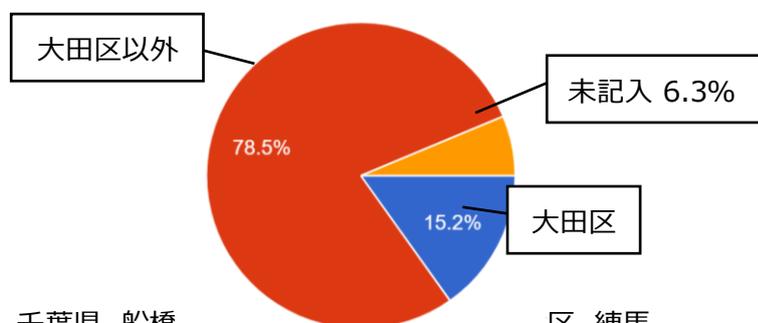
選択肢	人	%
① 一般参加	17	21.5
② 全国女性会館協議会会員職員等	42	53.2
③ 全国女性会館協議会以外のセンター職員等	9	11.4
④ 自治体職員	5	6.3
⑤ その他	6	7.6



その他：NPO職員、民間で男女共同参画分野の事業を展開、都議会議員

(2) お住まいの地域

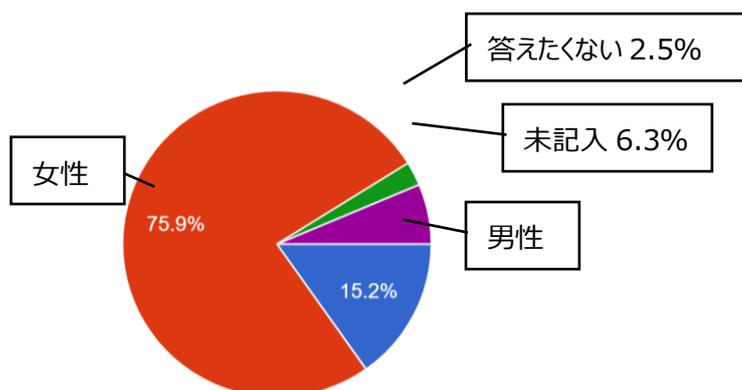
選択肢	人	%
大田区	12	15.2
大田区以外	62	78.5
未記入	5	6.3



②大田区以外：秋田県、郡山市、盛岡市、つくば市、千葉県、船橋区、練馬区、武蔵村山市、埼玉県2、さいたま市2、越谷市、神奈川県3、川崎市3、横浜市3、新潟県2、東海、浜松市2、名古屋市2、関西2、大阪市、熊本、宮崎県、県外

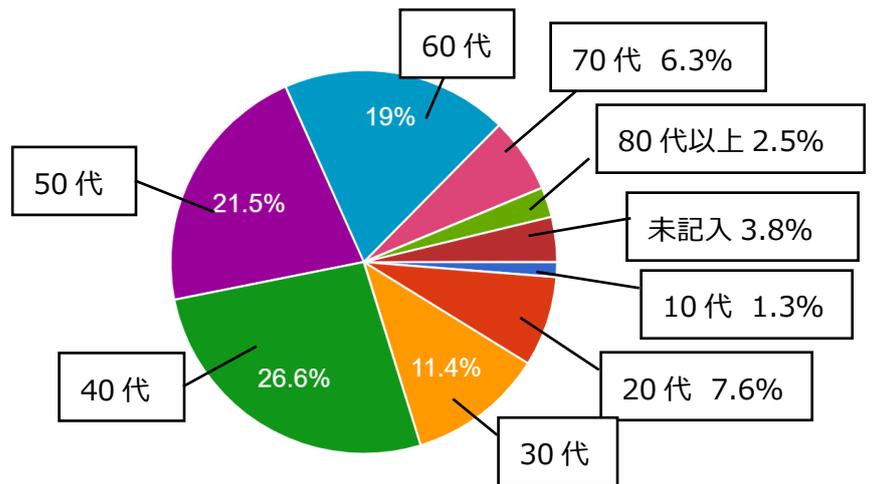
(3) 性別

選択肢	人	%
男性	12	15.2
女性	60	75.9
答えたくない	2	2.5
未記入	5	6.3



(4) 年代

選択肢	人	%
10代	1	1.3
20代	6	7.6
30代	9	11.4
40代	21	26.6
50代	17	21.5
60代	15	19.0
70代	5	6.3
80代以上	2	2.5
未記入	3	3.8



【その他欄外記載】

- ・ウエルカムステージで心温まる音楽と手話をありがとうございました。子どもたちの未来への責任を感じました。
- ・ラトレ・ラトレキッズさんの演奏と歌声に感動しました。ありがとうございました。

以上

全国女性会館協議会 第69回全国大会 in おおた 分科会1 アンケートまとめ

日時：2025年7月31日（木）9：30～11：30

会場：スマイル大森6階 エセナおおた 多目的ルーム

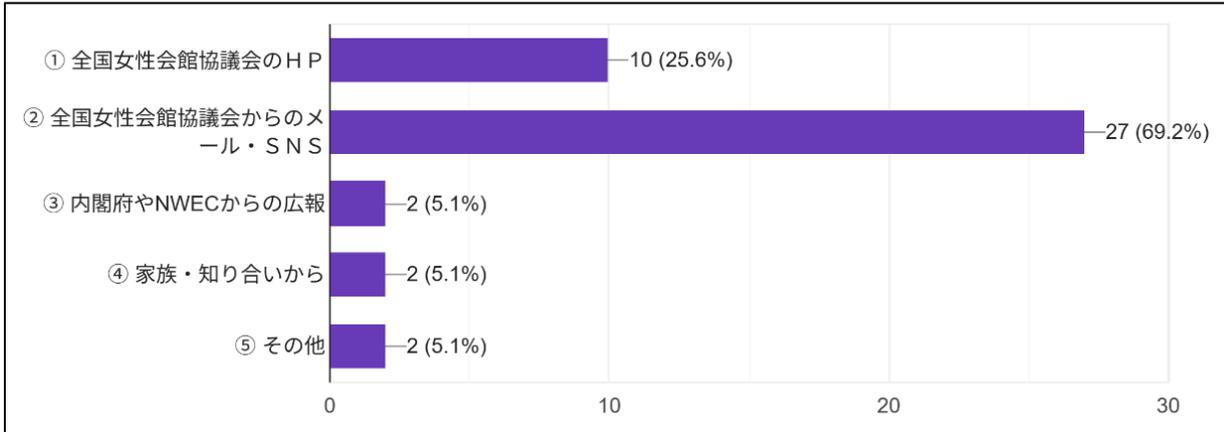
テーマ：災害時に備えてセンターでできることを考える

講師：浅野幸子（減災と男女共同参画 推進研修センター共同代表）

岡 智子（特定非営利活動法人ジェンダー平等 Labota 理事長）

参加者：48人 アンケート回収数：39枚 回収率：81.3%

1. このイベントを知ったきっかけ（複数回答あり）



2. 分科会の満足度とその理由

満足度	理由
100% (29件)	<p>【全体を通して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師のお話と他のセンターの取り組み。 ・浅野先生の基本的なご講義、各地の取り組みをいろいろお聞きできて、刺激を受けました。 ・勉強になりました。2件 ・理論と現場での実践と両方から学びがありました。 <p>【情報提供者・事例報告者の話について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浅野さん、岡さんの話がわかりやすく、防災避難所運営に男女共同参画視点の重要性がよく理解できたとし、能登の今が知れて良かったです。 ・浅野さん、岡さんの事例やご説明が詳しく、地域に活かすヒントを伺えた。 ・先生お二人の講演がとてもためになりました。 ・浅野先生の講話はわかりやすかった。 ・支援を雇用につなげる。当事者と職員が一緒に支援することで対応能力が強化される。 <p>【グループディスカッションについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センターの状況、職員の立場も様々だったので、有意義だった。 ・全国各地のセンターの職員のみなさまのご活動を直接知ることができ、また直接顔をあわせてお話できたことが嬉しかったですし、学びにもなりました。 ・様々な意見・取り組みが聞けて良かったです。 ・色々な立場の方のお話が伺えて、勉強になりました。 ・具体的に知ることができて企画を立てる時の良いアイデアをつかめました。グループワークがとても興味深かったです。 ・様々なセンターの取り組みや事例を知ることができ、大変勉強になりました。センターだからこ

	<p>そでできることを広げていきたいと思ひます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見交換の場があつたこと。 ・楽しく顔を見て話をすることができ勉強になりました。 ・全国のセンターの防災への取り組みがあつた。 ・他センターの取り組みを聞かせていただき、やるべきことが見えてきて、勇気づけられました。 ・たくさんの方の意見が聞けて勉強になりました。 ・他地域の実情、工夫、活動内容が聞けてよかつた。 ・様々な取り組みや事例を進めるうえでの困難等を共有できた。BCP計画を考えるうえで「相談の継続」は重要な課題だが、そもそも相談員が発災（災害）時に求められる相談ができるか平時からの研修の必要性に気づくことができた。 ・同じグループの方のお話も聞けてとても参考になりました。 ・多様な立場で構成されるメンバーでの話し合いでしたが、違いを有効活用した実りあるやり取りができました。 ・ワークがあつた。各センターのお取組みを伺うことができた。 <p>理由未記入 3 件</p>
98%(1 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・気づきを種々得られた。
95%(1 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な立場からの視点を知ることができた。
90%(6 件)	<p>【グループディスカッションについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じような課題を抱えているセンターや工夫して研修しているセンターもあり、とても勉強になった。 ・他センターの取り組み、好事例が知れた。とともに、自分たちのセンターの災害時の連携がまだ脆弱と感じた。チームを変えて、もう一度話す時間があればもっとよかつた。 ・自治体、各地センター、NWEC など、それぞれの立場での好事例や課題共有できたから。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間がもっとあつたらよかつた。 ・電車遅延で遅れてしまい、浅野先生のお話が聞けず残念だったため <p>理由未記入 1 件</p>
85%(1 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・役立つ情報ばかりでした。
80% (3 件)	<p>【情報提供者・事例報告者の話について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例発表、浅野先生のお話がすごくわかりやすかつたです。 <p>【グループディスカッションについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他都市の取り組みについても共有されて嬉しく、横のつながりが大切だと感じました。 ・各地のセンターのみなさんと具体的な実践を共有でき有意義であつたから。 ・他のセンターの防災の取り組みを知ることができた。 <p>理由未記入 1 件</p>

3. 災害時に備えてセンターでやつてること、やりたいと思つたこと

(1) やつてゐること

【講座・イベント等事業】

- ・防災講座 13 件（自主、連続、出前含む）
- ・防災リーダー研修→サポーターの養成
- ・女性防災リーダー育成講座 3 件（メンバーの中に消防団女性部リーダーに入ってもらう）
- ・防災イベント実施（市民発案のものや職員が話題提供するものなど、小規模で）
- ・男性を対象とした防災とケア役割についての講座
- ・展示

- ・防災に関する事業
- ・周知（出前講座、リーフレット、パネル展示）
- ・リーフレットの配布
- ・パネルの貸出
- ・市民をまきこんだ防災講座（段ボールベッドの組立、保存食の試食）
- ・ほとんどなし、県民向け普及啓発講座
- ・防災訓練、防災講座、女性リーダー養成講座の充実

【相談】

- ・相談事業
- ・総合相談の実施

【連携】

- ・民間ネットワークへの加入
- ・県や地域団体との連携を強化
- ・防災部局との連携
- ・危機管理課との連携（充分ではないですが）

【訓練・研修】

- ・スタッフの防災訓練 3件
- ・研修 2件
- ・市・区と連携した訓練での男女共同参画の視点からの情報提供
- ・3.11を知らない職員への当時の取り組みの研修
- ・避難訓練
- ・市町村職員研修

【その他】

- ・講座修了生の学習グループの支援
- ・行政職員（県、市の男女・防災部局）への啓発

未記入 11件

（2）やりたいと思ったこと

【講座・イベント等事業】

- ・防災リーダー（女性の育成）講座 5件
- ・被災時のシミュレーション講座
- ・子ども向け講座
- ・災害時の避難所運営に関する講座
- ・展示
- ・出張講座

【相談】

- ・相談担当職員の研修
- ・災害時の相談事業体制について共有しておくこと、体制の整備 2件
- ・災害時の相談支援、居場所提供（日ごろのネットワークを活用して）

【連携】

- ・自治会への女性の投入推進
- ・企業との連携
- ・様々な団体との連携 3件
- ・他機関との連携 2件
- ・行政部局間の連携体制構築

- ・県内、災害支援センターとの関係構築をしたい
- ・県内女性センターとのネットワーク作り
- ・県・市町村との関係構築
- ・消防団との連携
- ・県と密なやり取り（男女担当課、防災担当課）

【訓練・研修】

- ・自治体防災職員向け研修を毎年やる（男女共同参画の視点）
- ・人材育成

【その他】

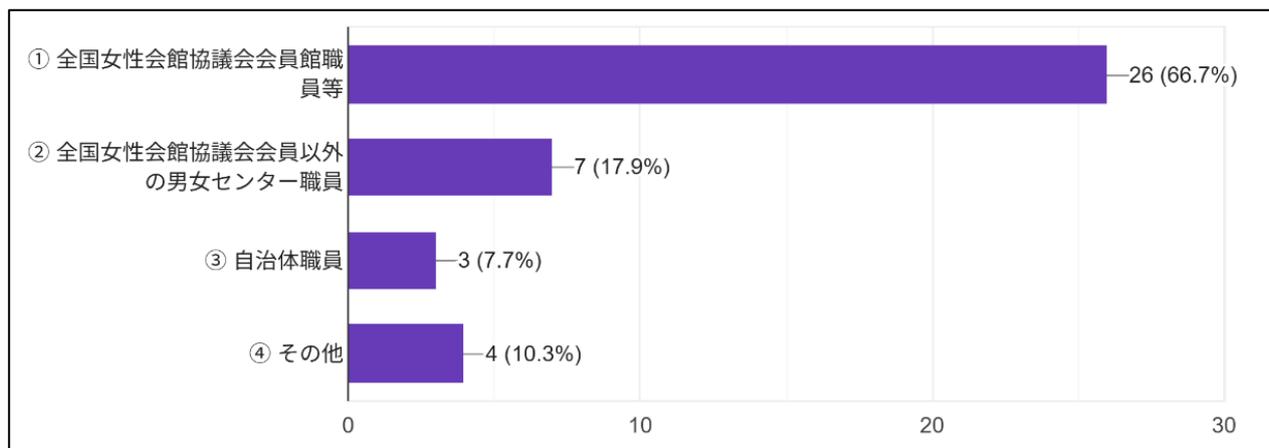
- ・被災時センターができることを考える（行政と一緒に）
- ・男女センター職員の災害時の被災者支援の専門性とは何か考えてゆきたい
- ・センターのBCPについてのまとめ→役所への共有（防災計画どおりの働きができる体制について）
- ・スライドにあった女性向けケア
- ・調査研究事業
- ・行政職員へのアウトリーチ
- ・行政職員がHUG研修をできるようにしたい
- ・男女共同参画視点をより浸透させていくこと
- ・地域への男女共同参画の視点を広げること
- ・相互支援ネットワークをフルに活用していく 2件
- ・相互ネットについてもっと詳しく知りたい
- ・マニュアル作り
- ・市の防災会議等の委員における女性比率の拡大
- ・現実的な災害発生時の業務継続計画作成
- ・複合施設ならではの強みを出す

男女局	}	<ul style="list-style-type: none"> クレオ東＋スポーツセンター クレオ西＋子ども文化センター クレオ南＋お年寄りすこやかセンター 	それぞれの先の行政への意見
-----	---	--	---------------

- ・事業担当職員以外の意識向上、温度差を埋める
- ・女性防災リーダーの自主サークル化
- ・備蓄品の購入（センターが避難場所ではないので考えられていない）
- ・個人の声、困りごととはどんなものか聞いてみたい
- ・ちいかわタロット占いについて
- ・未記入 7件

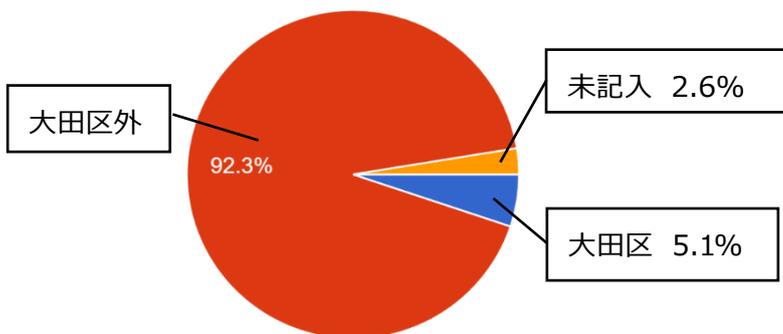
4. 属性

[所属]



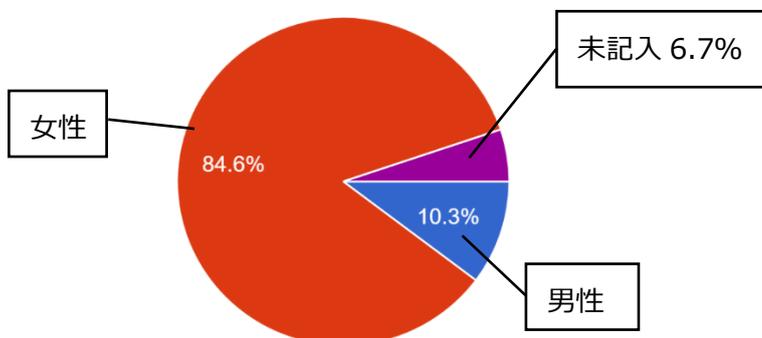
[お住いの地域]

選択肢	人	%
大田区	2	5.1
大田区外	36	92.3
未記入	1	2.6



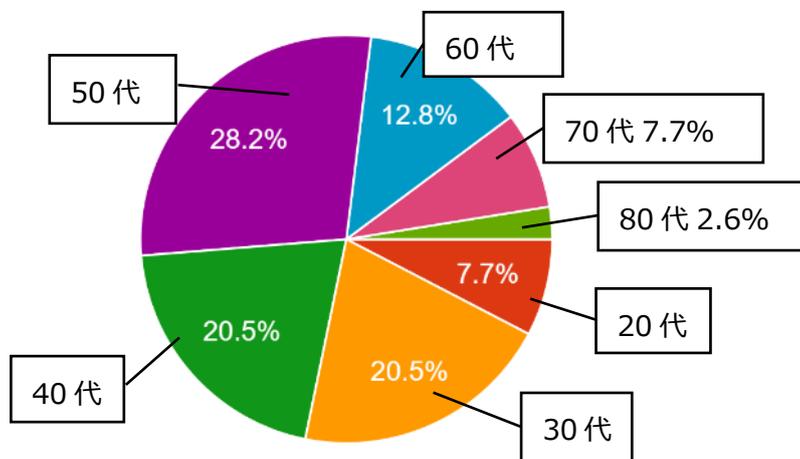
[性別]

選択肢	人	%
男性	4	10.3
女性	33	84.6
その他	0	0
答えたくない	0	0
未記入	2	6.7



[年代]

選択肢	人	%
10代	0	0.0
20代	3	7.7
30代	8	20.5
40代	8	20.5
50代	11	28.2
60代	5	12.8
70代	3	7.7
80代以上	1	2.6



以上

全国女性会館協議会 第69回全国大会 in おおた 分科会2 アンケートまとめ

日時：2025年7月31日（木）9：30～11：30

会場：スマイル大森6階 エセナおおた 第1学習室

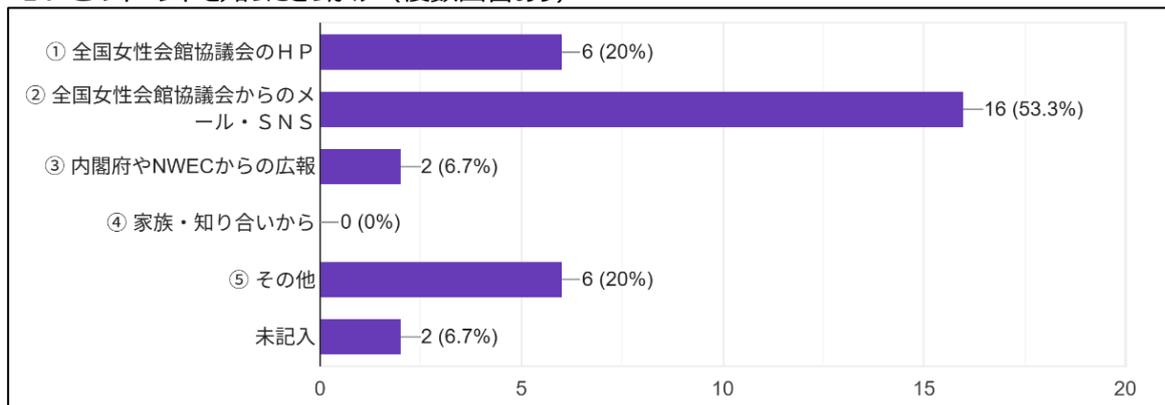
テーマ：困難を抱える女性の対応を知り、センター業務に活かす

講師：飯島裕子（桜美林大学准教授、ノンフィクションライター）

近藤博子（一般社団法人としび at だんだん代表）

参加者：42人 アンケート回収数：30枚 回収率：71.4%

1. このイベントを知ったきっかけ（複数回答あり）



2. 分科会の満足度とその理由

満足度	理由
100% (19件)	<p>【全体を通して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務へ具体的に活かせる内容であったため。大変ありがたかったです。 ・様々な分野で活動するのも必要だが、センターがセンターとしてやれることを考えなければならぬと考えた。特に相談について、どのように処遇改善をはかり、困難女性をつなげるかを考えた。 ・困難女性についてとてもわかったから。 ・共感や発見がありました。 <p>【情報提供者・事例報告者の話について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両事例発表者の方からも、多くの気づきをいただきました。 ・近藤さんの話が面白かったです。しようと思って始めたのではなく、だんだん場になっていって、継続しているのすごいなあと思いました。 ・講師の方のお話も面白かった。 ・サイレント層の困難について知ることができた。 ・スピーカーのお二人の話がとてもわかりやすく具体的だった。 <p>【グループディスカッションについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな取り組みを聞くことができ、課題の共有もできた。 ・みんな真剣、みんな熱心。区の福祉課の担当さんの話を聞いたのはよかった。 ・他施設の皆さんと事業のことで交流できた。 ・本日のみの参加でしたが、様々な立場の方とお話することができて、参考とさせていただくことができました。 ・いろいろな御意見や情報交換ができて大きな学びになりました。 ・他センターの思いや事業について知ることができた。 ・グループではセンターにかかわって日が浅い方と話ができましたので、外からどう見えるのか率直な

	<p>意見を聞くことができよかったです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループワークで、これからのセンターで困難な女性についてどのような支援ができるか考える機会になった。 ・各地の男女センターの先進事例もグループワークで情報交換でき、参考になった。 ・他地域、他センターの取り組みを知ることができた。
97%(1件)	・話題提供、事例発表、グループディスカッション、すべてから気づきを得られた。
95%(1件)	・多くの方の話が聞けたこと、他の自治体、全国の事情の一部だが聞けたこと。
90% (12件)	<p>【全体を通して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年層だけでなく中高年層の支援も課題になっていることがわかりました。いろんな事業に関心を持って行くことが必要だと感じた。まだまだ田舎が進んでいないこともわかった。 ・事例発表で好事例の取り組みを知ることができ、他団体とも有意義な情報交換ができました。 <p>【情報提供者・事例報告者の話について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前半のお二人の講師のお話もいろいろな気づきや学びがあった。 ・講師発表を伺えたこと <p>【グループディスカッションについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他センターの活動や悩みも聞くことができ、自分のところだけじゃないと思えた。 ・グループワークで各団体の取り組みを知ることができ、今後の活動のヒントが得られた。 ・現場で様々な取り組みをしているセンター職員の話聞くことができました。困難な女性（人々）の課題をセンターが取り組んでいることを見える化することが重要、市民の理解と支援が。 ・各地のセンターの方々と話せた。 ・他センターの方の取り組みが知れたこと。 <p>理由未記入3件</p>
85%(1件)	・各地方のセンターの相談事業の状況を知ることができたため。
80% (2件)	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマについて知りたかったことがあった。それを知ることができた。 ・他センターの取り組みが聞いて参考になった。講師の方の話が短くて残念。40分であれば一人でよかったのでは？

3. 困難を抱える女性のためにセンターでやってること、やりたいと思ったこと

(1) やっていること

【講座】

- ・講座（手仕事のような）。
- ・困難を抱えるということでは特にやっていることはないが、シニア世代を対象にした講座が結果として、困難を抱える女性へのつながりになっていたと思った。
- ・週1のカフェ（ニット編み、ジェンダーの話、小工作、本の紹介）。
- ・女性に寄り添う講座等は多く行っている。
- ・親子で妊娠の過程について学ぶ「親子で学ぶ初めての性のおはなし」。
- ・ジェンダー平等カフェ 講座 → 櫻井彩乃さんを講師にお迎えして Zoom にて参加。
- ・「非正規シングル女性」向けの講座。
- ・支援をしているグループと現役女性議員の会をつなげ、共に学び合う場を作った。（全3回）お互いの持つ情報を学び合う機会となった。

【居場所】

- ・居場所、相談、アウトリーチ事業
- ・居場所事業
- ・若年女性とのつながり、カフェ等

【相談】

- ・各種相談機関・窓口の広報（リーフレット・ポスター作成）
- ・具体的にできていることは、相談を窓口に、他の機関につなぐこと
- ・相談、情報提供
- ・生活設計相談、女性相談

【その他】

- ・若年無業女性のための事業
- ・女性活躍が中心になっているため、センター事業としては現在できない。
- ・ない
- ・未記入 13 件

（２）やりたいと思ったこと

【講座・イベント】

- ・シングル向け、男性向けの講座等是一直行ってみたい
- ・支援者を増やすための講座
- ・支援をしているグループと現役女性議員の会をつなげる事業を継続的な動きにしていきたい。
- ・シングルファザー、シングルマザーのイベント ワークショップ等
- ・フリースペースで時間を決めて、タイトルは「ゆるやかにつながりたい人」とかで集める。「声をかけてください」「声をかけないでください」とカードを使って。予算をつけないでもはじめられそう。
- ・様々な方を対象にした話し場
- ・働く人向けに夜のイベント

【居場所】

- ・フリースペースを活用した居場所 2 件
- ・定期的な居場所 2 件
- ・シングル女性に向けたカフェ
- ・居場所事業を充実させていきたい
- ・何かしながら話せる場作り
- ・幅広い方が参加できる居場所作り 助け・助けられることの垣根の低い場となっていきたい【相談】
- ・ハードルの低い窓口
- ・相談員養成のための取り組み

【連携】

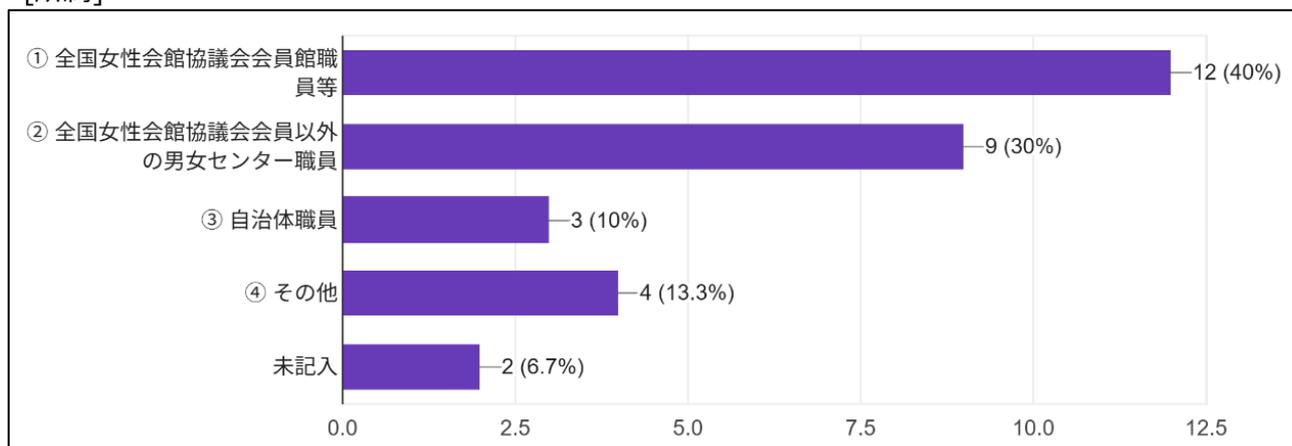
- ・男女共同参画部門と福祉部門の更なる連携
- ・子ども食堂とのコラボ
- ・民間との協働をどのように実施するか、地域にある社会貢献資源と積極的につながっていくことが重要だと感じた

【その他】

- ・パネルディスカッションの常設
- ・センターにつながりにくいセグメントに対する総合的なアプローチ
- ・待っているだけではない外へ飛び出す企画
- ・新たなセーフティーネットワークを作る
- ・ユースクリニック ←ユースではなくても 更年期や性等の悩みを話せる場
- ・中高年の方の生活設計
- ・中高年女性とのつながり、支援等
- ・あるけど・・・
- ・未記入 9 件

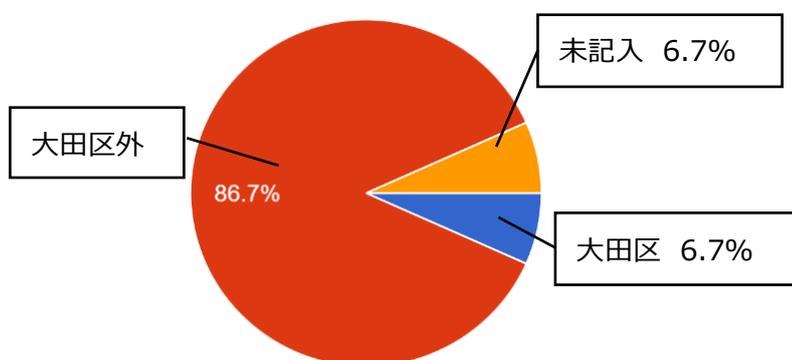
4. 属性

[所属]



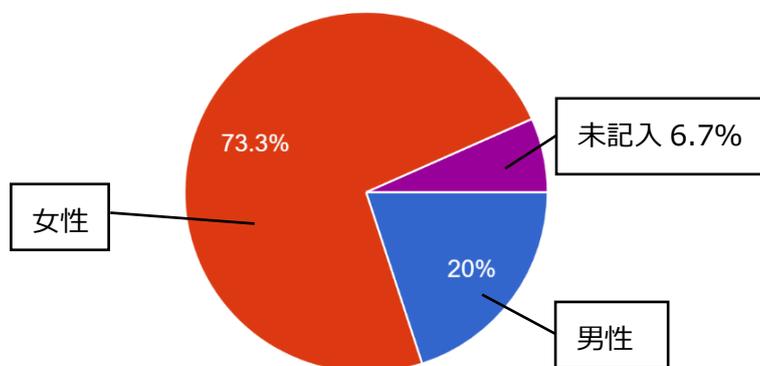
[お住いの地域]

選択肢	人	%
大田区	2	6.7
大田区外	26	86.7
未記入	2	6.7



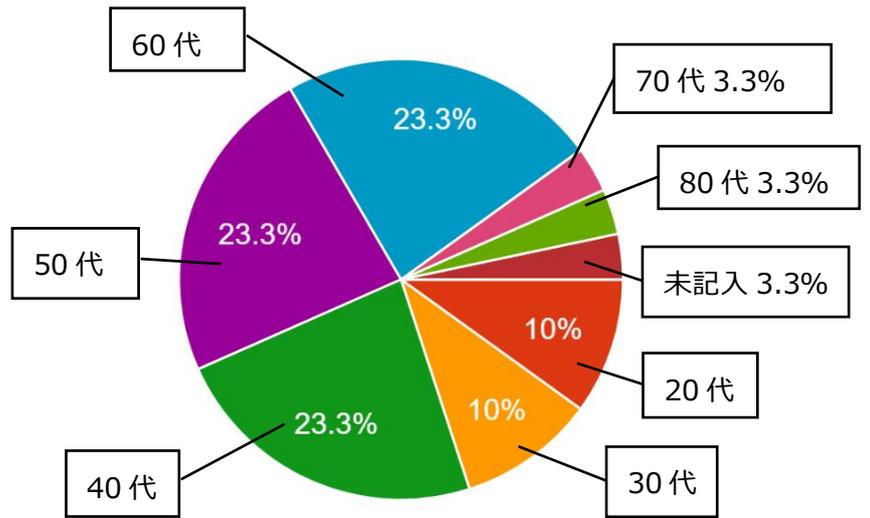
[性別]

選択肢	人	%
男性	6	20
女性	22	73.3
その他	0	0
答えたくない	0	0
未記入	2	6.7



[年代]

選択肢	人	%
10代	0	0.0
20代	3	10.0
30代	3	10.0
40代	7	23.3
50代	7	23.3
60代	7	23.3
70代	1	3.3
80代以上	1	3.3
未記入	1	3.3



以上